

学校図書館支援センター通信 NO.112 6月号

平成29年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）



菅野小学校 作家講演会「富安陽子さん」 ～物語が生まれるとき～

6月2日（金）に、児童文学作家 富安陽子さんをお招きした作家講演会が開催されました。菅野小学校では、今回の作家講演会を開催するにあたり、図書館相互貸借システムを利用して、富安さんの作品を集めました。集めた作品を低学年、中学年、高学年向けの本に分けて、各学年の廊下へ置き、読書を楽しみました。また、低学年に向けて、図書委員会の児童による読み聞かせも行われました。このようにして、富安さんの作品に親しんだ子供たちは、「早く会いたいな。」という思いがどんどん膨らんでいきました。そして、子供たちの期待に満ちた笑顔と大きな拍手で作家講演会が、始まりました。

講演会は、「物語が生まれるとき」をテーマに、低学年、高学年に分かれて行いました。富安さんは、約35年間子供向けの本を書き続け、130冊にも及ぶ作品を世に送り出しています。現在も年間8～10冊の新刊が出ています。「とにかく読者がわくわくドキドキする楽しい作品を書くこと」を心がけて書いているそうです。「作品を通して、何を感じるか」は、読者が決めることだと話していました。一人一人の感じ方を大切に、想像力をはたらかせて、多くの本と出会ってほしいと子供たちへメッセージを送っていました。

楽しい物語の種は、生活の中にあると考える富安さんは、いつも「おもしろいこと」「不思議なこと」を考えているので、本が夢にまで出てくることもあるそうです。そんな夢から生まれたのが、「オニのサラリーマン」という絵本で、この本の読み聞かせをしてくださいました。大阪弁での語り口調に、会場全体が絵本の世界に引き込まれていきました。

富安さんの作品に大きな影響を与えているのが、幼少期の祖母から聞いた妖怪の話で、祖母から聞く妖怪の話が大好きだったそうです。その様な多くの妖怪の話の中から「目に見えているものだけがすべてではない。」ということをお教わったという言葉が心に残りました。

一つ一つの話に引きつけられた、富安陽子さんの魅力溢れる講演会でした。

講演会后、教室に戻った子供たちを待っていたのは、「まゆとおおきなケーキ」に出てくるケーキでした。



物語に出てくるケーキを給食室の方が再現してくれました。給食後、図書委員会の児童による読み聞かせも企画され、講演後も、五感を刺激しながらお話の世界を楽しむ子供たちでした。



お知らせ

平成29年度学校図書館年間利用計画を、市川市教育センターホームページに掲載しました。

図書館の窓から～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～



「読書いっぱい」の富貴島小には、子どもたちの読書教育を支えてくださる頼もしい保護者がいます。毎週金曜日、読み聞かせをしてくださる皆さん。季節、学習に関係した本の選書など工夫して本を読んでくださいます。

もうひとつ、学校図書館ボランティアという組織があります。

「本の修理・学習へのサポート」「大型紙芝居の公演・業間休みの読み聞かせ」

「楽しい図書館の環境づくり」など、3つに分かれ活動しています。

このような環境の中、本と親しんでいるととても幸せな子供たちです。



【ボランティアによる「ウホウホあぶないウホウホにげろ」の公演】
(市川市立富貴島小学校 学校司書 押田 利枝)

「あすチャレ！スクール」を通して考えよう！ 「多様性と調和」の実現を目指して～南行徳中学校の取組～

中学2年生の国語科の教科書に、佐藤 真海さんの「夢を跳ぶ」という作品があります。この作品は、病で片足を失った佐藤さんの心の葛藤と試練を乗り越えパラリンピックの陸上選手へと成長する様子が描かれています。

南行徳中学校の2年生は、この作品を導入に「あすチャレ！スクール」※へと発展させた取組を行いました。

まず、朝の読書の時間を使って、「パラリンピックに関する本」「障がい者スポーツに関する本」を読み、一人ひとりの知識を広げていきました。

学校司書から、「学校図書館は、情報発信源である。」と日々考えて、必要な場面で図書資料を提供するように心がけているという話を伺いました。今回は、「多様性」について、生徒たちが学ぶための手段として、



図書資料を用いた事前学習を取り入れました。

そして、6月7日（水）「あすチャレ！スクール」当日を迎えました。実際に車いすバスケットボールのパラアスリートと共に車いすバスケットを体験しました。直接話を聞き、共に汗を流すことで、「多様性を認め合うこと」とは、どのようなことか考えることができたのではないのでしょうか。

※「あすチャレ！スクール」とは、日本財団パラリンピックサポートセンター主催で行われる体験型授業のことです。

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

